



# キッズファム 通信

No. 8

2020年12月発行

発行：一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団（キッズファム財団）

Foundation for Severely Ill Children and Their Families



## ご挨拶

一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団  
代表理事 細谷 亮太

コロナ禍の中、厳しい日常をお過ごし  
と思います。財団を代表して、一言、ご  
挨拶を申し上げます。

私は、大学卒業後、病気の子ども達と  
ご両親のために仕事をしたいと思い、まず、小児科を選択し  
ました。その後、小児がんの診断と治療を専門分野として選  
び、続けることになりました。

それを決めた1970年代の初め、小児がんはまだ治らな  
い病気でした。つまり、その領域を専門にするということ  
は、治る時代の来ることを願いつつ、医療チームの一員とし  
て終末期の子ども達と家族のために力を尽くす事でした。私  
の初心はその時代に確固たるものとなったように思います。

1980年代、小児がんも治る病気の仲間入りをしました。  
子ども達も家族も希望を持ち続けることができるようになり  
ました。もちろん私にとっても病気を治すのは嬉しい仕事で  
した。でも全員に治癒をプレゼントできるわけではありません。  
そのような状況の中で、小児がん領域だけではなく、大  
変な状況を受け容れなければならない子どもとその家族のた  
めに働くのが自分の初心を生かす仕事だと思い定年の日まで  
力を尽くしてきました。

厳しい外来、病棟での仕事を離れた今日も、難病の子ども  
たちと家族に楽しく又、ゆっくりできる居場所を提供しよう  
としている財団の仲間と働くことができるのは私にとって大  
きな喜びです。

## ☆財団の主なイベントご紹介

### ■医療的ケア児・者と家族の 主張コンクール

#### グランプリは山崎香織さん

2020年3月に予定しておりました「第3回医療的ケア児・者と家族の主張コンクール」は、新型コロナウイルス感染症のため開催を延期し、多くの方が集まらなくても良いように、スタジオと発表者をリモートで繋ぐ方法で9月に開催いたしました。

最初に当財団代表理事の細谷亮太より開会の挨拶、審査員のご紹介、続いて6名の発表者の方よりリモート参加の形で、医療的ケアの必要なお子さんを生み・育てた経験、間近にしている立場から、感じていること、得たこと、また社会や制度の不合理、それに対する提案などの“主張”をしていただきました。どの“主張”も力強く、説得力のあるものでした。6名の方の発表の要約は右ページをご参照ください。

発表の後、審査員3名の協議により、グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞が下記の方に決定いたしました。

#### ★グランプリ

【息子・太幹がくれた“ありがとう”の日々】山崎香織

★準グランプリ 【息子の入院中に思うこと】押尾愛子

★審査員特別賞 【眠れる国の王子様】橋本美穂



スタジオでの収録風景

今回初めての試みでしたが、ギュッと集中した、まとまりのある「主張コンクール」になったように思います。ぜひ財団のウェブサイトで映像をご覧ください、共に考える機会にさせていただきますと幸いです。



発表者の皆さま



また、会場にメディアの方が足を運ばれ、発表と審査を観ていただきました。発信いただいたリリースを通じて、さらに多くのメディアに取り上げていただきました。発表者の声を広く社会に伝えることができとても良かったと思います。

最後になりましたが、素晴らしい“主張”をしてくださった6名の皆様、的確な審査と今後に繋がるあたたかいコメントをくださった審査員の皆様、そして計画



発表者とリモートで繋いで

の段階から当日の運営に至るまで、きめ細やかなご助言とプロ集団としての技術力を注いってくださいました株式会社シミズオクトの皆様に、心より感謝申し上げます。



審査員の皆様：左より、秋山正子氏（認定NPO法人マギーズ東京センター長）、丹野真紀子氏（大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科教授）、細谷亮太氏（キッズファミン財団代表理事）

\*発表者の動画は財団ウェブサイトでご視聴いただけます。

## 各発表者の“主張”サマリー

### 「息子・太幹がくれた“ありがとう”の日々」 山崎 香織様

我が子の障がいを受け止められずにいたが、懸命に生きる姿に気持ちを転換、育児を楽しんでいる。子ども達にも医療的ケア児の存在を知ってほしい、障がい児の子育てもたくさんの幸せがあることを知ってほしい。



### 「眠れる国の王子様」 橋本 美穂様

医師の「やりたいことをやってみたらいい」の言葉に後押しされ、思い描いていた育児を実践。

たくさんの人々の優しさとおたたかな思い出の数々は、悲しさやさみしさを上回り、前向きに生きていく手助けをしてくれている。



### 「人工肛門の袋代について誰もが助成を受けられる世の中になって欲しい」 川上 ゆうこ様

人工肛門からの排泄に必要な袋（パウチ）に対する助成制度は、病気の種類や障害認定などにより差がある。病気やケアへの苦労、袋の必要性、かかる費用は同じなので、誰もが同じように助成を受けられるようになってほしい。



### 「私の夢」 中野 弘子様

福祉の仕事のすばらしさを広めるとともに、収入や待遇、職場環境などを改善し、子どもたちの憧れの職業になって欲しい。また障がい児の増加、家族の負担、老障介護が課題となる中、わが子を安心して託せる楽しい施設を増やしてほしい。



### 「逆境を乗り越えてこられた甥っ子の存在」 星野 崇史様

プロサッカー選手を続けることを諦め、挫折を感じていた折、甥が突然の病気から障がい児に。

両親の嘆き・苦労、甥の懸命に生きる姿に接し一念発起、新しい人生を歩み始めた。将来的には障がいのある子ども達への支援活動を行いたい。



### 「息子の入院中に思うこと」 押尾 愛子様

障がいのある二人の子ども、一人が入院すると両親は家と病院の往復でたいへんな毎日。現在の制度では許されていないが、子どもと親の安心のため、子どもにも、ケアにも慣れている訪問看護師が入院中も訪問出来るようになってほしい。



## ■チャリティライブ

偶数月の第3水曜日に FacebookLIVE で生配信しています。本来なら会場にいらしていただき生の音楽をお聴きいただきたいのですが、コロナの影響により6月より生配信でお届けしています。また、編集後の動画を YouTube でも公開しています。

### ■第9回 - 6月17日

Café Apartment183 にて、窪田想士さん（ヴィブラフォン）と稲荷周佑さん（電子ピアノ）による演奏がおこなわれました。大ヒットアニメ“鬼滅の刃”の「紅蓮華」からスタートして、米津玄師の「パプリカ」に続き、窪田さんによるジャズ調にアレンジされた「My Favorite Things～私のお気に入り～」では、ヴィブラフォンならではの綺麗な音色を響かせてくださいました。ラストは、Official 髭男dismの「Pretender」で、爽やかな雰囲気包まれて終了となりました。



### ■第10回 - 8月19日

Café Apartment183 にて、東京アコーディオン研究会（あこけん）による演奏がおこなわれました。アコーディオンの優しく心地よい音色が響き、懐かしい曲やテンポの良い

曲を10曲演奏してくださいました。ボタン式アコーディオンの音階配列についての説明や、オタマや、しゃもじを持つての踊りがあり、また、曲名や説明を書いた手作りのスケッチブックも用意していただき、お子さんに楽しんでいただきたいという、あこけんさんの優しさが溢れたライブでした。



### ■第11回 - 10月21日

埼玉県ときがわ町の植松さんのご自宅にて、植松透さん（パーカッション）植松葉子さん（横笛）高屋敷庄一さん（ピアノ）による演奏がおこなわれました。手作りの楽器も含めて18種類程の打楽器を演奏してください、横笛とピアノとのコラボレーションも非常に素晴らしいものでした。初めての自宅での開催となり、晴天に恵まれ、外で聴く音楽は特別な音色でした。また、可愛いお子さん4人が、手話と踊りを交えたコーラスで飛び入り参加してくれました。



\* 次回は12月16日、次々回は2月17日の予定です。Facebookのフォローと、YouTubeのチャンネル登録をお願いいたします。いずれも「キッズファム」で検索してください。

## ■写真展「いのち 輝く」 世田谷美術館 1階区民ギャラリー A



秋も深まり木々も色づき始め、天候にも恵まれた10月27日(月)～11月1日(日)世田谷区砧公園内にある世田谷美術館1階区民ギャラリーAにて財団主催の写真展「いのち 輝く」を開催しました。

今回は、36家族、52枚の写真パネルとコメントを展示しました。開催6日間で近隣の方、都内、神奈川県、千葉県、埼玉県他、500名ほどの方にご来場いただきました。

初日には報道機関の取材があり、夜のニュース、ラジオで写真展のことが放送されました。

写真のご家族、ご親族、医療関係、福祉関係、教育関係、小児科看護師を目指す学生、身近に医療的ケア児がいる方、写真を見るまで医療的ケア児のことを詳しく知らなかった方、家族から説明を受けながらの児童など、様々な方にご覧いただきました。



NHK「首都圏ニュース845」で放映

写真とメッセージを読みながら思いを馳せ涙ぐむ方。写真の笑顔に力をもらい励まされた方。慈しみ溢れる気持ちを伝えてくださる方。自身のことを振り返り、誰かのために役に立つことがあるかもしれないと思うと伝えてくださる方。一人ひとり大切ないのち、元気で幸せでいてほしい。ここまでの日々を思うと多くのことを乗り越え笑顔輝くご家族にエールを贈りたい・・・などなど。

紙面でお伝えきれない位たくさんのお気持ちをお寄せいただきました。会話を交わすことがなくてもご覧いただいている姿、表情からパネルのご家族への温かいお気持ちを感じる取ることができました。

アンケートにも各々の思い、感想をご記入いただきました



た。ご来場いただいた皆様の思い、大切な話を伺えましたこと関係者一同とても嬉しく思っております。

財団の思い、写真展の写真、メッセージを通して重い病気を持つ子どもと家族の姿を伝え、多くの方に知っていたけたのではないかと感じています。

写真展にご参加いただいた写真パネルのご家族の皆様のご理解、ご協力に心よりお礼申し上げます。コロナ禍での開催に憂慮し、感染予防には十分な準備、配慮いたしました。

来場者様のご協力、写真展の報道をしていただいた関係者様、世田谷美術館の職員、学芸員の方々、全ての皆様にご感謝いたします。



次回は2021年2月8日(月)～19日(金)9:30～18:00 世田谷区砧のNHK放送技術研究所、技研ギャラリーで財団主催の「いのち 輝く」の写真展の開催を予定しております(入場無料)。

多くの方のご来場を心よりお待ちしております。



## 英国だより(5)

喜谷 喜夫



皆様ご機嫌よくお過ごしのことと存じます。

残念ながらコロナ感染症は日本も英国も世界中で拡大傾向にあり、我々は既にコロナ感染症の第2波の中で生活を送っている様です。第2波はこの春の第1波より厳しいと予測されて居りますので皆様どうぞ充分にお気を付けてください。



ロックダウン下でのパブ

英国だより、最近の英国の様子と申せば1にも2にもコロナ禍についてお話ししなければなりません。フランス、ドイツなど諸国に次いで英国も11月5日(木)からロックダウンに入りました。今回は前回春の時と異なり学校、大学は対象になりませんが、日常必需関連以外の場所は全て閉まってしまいました。

第1波のロックダウンが解除されて以降今日まで、毎日の感染者数、死者数は日本に比べて格段に高く推移し、特に若年層で無症状の感染者が多かったようです。我が家の孫達を見て

も、幸い7人誰も陽性反応は出て居りませんが寄宿学校での生活で仲間の誰かに陽性反応が出る濃厚接触者と見なされ自宅に戻され2週間の自粛生活をしなければなりません。この間は自宅でonline授業を受けます。

日常必需品の買い物は殆どonlineで済ませられますが、時には銀行の前の道路で寒風の中2メートル間隔で待たされた後順番で店内に入れてもらう事もあります。ともかく1日も早くワクチンが開発され早く収束することを誰もが望んでいます。

今年も秋から冬がやって参りました。我が家の庭からの便りです。写真の左には1本のもみじの木に緑の葉、紅葉した葉が見えます。写真の右には3年前昌代が生前に植えたもみじの木が真っ赤に紅葉致しました。

日本もこれから厳しい冬を迎えられますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



## ～書籍販売のお知らせ～

当財団の創設者である喜谷昌代の生涯を記した本を出版いたします。半世紀以上にわたり行ってきたボランティア活動とともにあった人生と、「もみじの家」開設までの歴史に関心を寄せていただければ幸いです。

タイトル	ひとすじの光 喜谷昌代の生涯
編著	一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団 (キッズファム財団)
出版社	文藝春秋
主な収録内容	喜谷昌代の半生 / MOMIJI プロジェクトから「もみじの家」へ / 喜谷昌代の想いを受けて / 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団
財団販売価格	1,700円(税・送料込)

\*書店販売(1,870円)より安価となっております。

\*財団よりご購入いただいた売上金の全額を「重い病気を持つ子どもと家族のための活動」に使用いたします。本の購入を通じて財団の活動をご支援ください。皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。

申込方法	①郵便局 郵便振込用紙に、お申込み冊数をご記入のうえ、下記の口座にお振込みください。 00140-0-420461
	②ウェブサイト(銀行振込) 財団ウェブサイトの申込フォームに必要事項をご入力後、下記の銀行口座にお振込みください。 右の「QRコード」からアクセスいただけます。 三菱UFJ銀行 成城支店 普通 0233800



\*入金確認後、ご記入いただいたご住所へ郵送いたします。

\*申し訳ございませんが、振込料はご負担をお願いいたします。

\*コロナ禍により財団の出勤人数が限られているため、送付まで日数がかかる場合がございますが、ご了承願います。

## 私は、妹が大好きで～す！

はなき  
小3 小椋 花姫

私が3歳の時にルルちゃんは生まれました。生まれてすぐのルルちゃんは、とても可愛かったです。生まれて1年半後に退院しましたが、たまに面会ができました。とても嬉しかったです。けれど、中学生以上でないとルルちゃん達のお部屋には入れないのです。なので、ルルちゃんに会えるのは、生まれてすぐの時と、お母さんがたまにお部屋の入口に顔を見せにくる時のみです。まだ身体が小さいけれど、生きようと必死で病気と戦っていることがわかりました。私は、ルルちゃんと遊びました。

そして、2017年3月ルルちゃんは1歳半になり退院しました。私は、今までで一番嬉しかったです！とっても！

再びルルちゃんが入院するなど、悲しい事もありましたが、最近ではいつもルルちゃんと一緒にです。最近の夢で、ルルちゃんが死んでしまって、真っ青になって学校に行った悲惨な夢を



見ました。朝、起きた時は半泣きで、ルルちゃんがついてとてもホッとして泣きそうになってルルちゃんを抱きしめました。

私は、とにかく瑠々花のことが大大大だ～いすき！

次女瑠々花は、CFC 症候群という遺伝子の先天的疾患です。病気がわかった時には、妹の誕生を心待ちにしていた長女の気持ちを考えると心苦しかったものです。今となっては、病気だろうが何だろうが、長女にとって瑠々花は掛け替えのない、ただただ可愛い妹で、瑠々花もそんな姉が大好きな仲良し姉妹です。

医療的ケアの負担は重い日常ですが、もみじの家のお陰で旅行にも行けますし、たくさんの支援者の皆さま、家族のサポートのお陰で、長女の習い事、在宅での仕事も諦めることなく続けられます。何かと慌ただしい毎日ではありますが、満たされた時の瑠々花が醸し出す柔らかな空気と穏やかな表情に癒されながら、姉妹の成長をじっくり見守っていければ幸せに思います。

最後に、瑠々花と私ども家族を支えてくださっているたくさんの皆さまへ「いつも本当にありがとうございます。心より感謝しています！」  
母 小椋 博子

## History of KIDANI 〈7〉 MOMIJI プロジェクトの立ち上げ

当財団創設者、喜谷昌代のボランティア活動の歴史を紹介しています。

日本赤十字社や各国の赤十字社、地元の慈善団体などを通じてボランティア活動を続けてきた喜谷昌代は、1990年代に入って、独自に新たなボランティアプロジェクトとして「MOMIJI プロジェクト」を立ち上げました。

1991年に、海外での日本文化紹介の行事としては当時の最大級規模であった「ジャパンフェスティバル」が英国で開催されました。日英両国関係に多大な貢献をしたロンドンの「ジャパンソサエティ」創立百周年を記念する意図で英国政府が主体となり、日本の外務省、通商産業省、文化庁、国際交流基金、ジェットロなどが計画をすすめ、経団連も募金に協力しました。

喜谷は、英国赤十字社で支部長やディレクターとして、日本赤十字社への協力のよびかけはもちろん、「ウォーカーソン」というチャリティイベントを企画しました。一定の長距離を歩いてその達成度に応じて寄付をしてもらうというイベントです。そして、日本からの参加者を募り、渡航費や宿泊費などの資金集めに奔走し、第1回「MOMIJI プロジェクト」の実現へとこぎつけたのです。

日本から英国への参加者は、障がいを持つ12名の若者と、全国赤十字看護専門学校に通う学生12名、青年赤十字奉仕団と赤十字語学奉仕団のメンバー、医師や看護婦など総勢50名の大所帯でした。

プロジェクトの名前を「MOMIJI」にしたのは、日本を象徴する「もみじ」からで、もみじの5枚の葉に意味を持たせたのです。

1. 障がいを持つ人と介助者が一体となってひとつの目的に挑戦する。
2. 一般の人に障がいを持つ人への理解を深めてもらう。
3. 青少年に、たとえどんな困難に遭っても強く生きる自信を培ってもらう。
4. 他国の文化、生活への理解を深め強い友情を結ぶ機会にする。
5. 一生涯、心にとどまる教育的機会を捉える。

つまり、障がいを持つ青少年が友情を深め、障がい者も国際交流の機会に参加できることを世間に知らせたい。介助者として参加する青少年も、障がいを持つ人と友情を結び、こうした交流の素晴らしさや楽しさを発見してもらい、更には障がいを持つ人の忍耐力、チャレンジ精神などから様々な学びを得て、自分たち自身の精神的な成長につなげること。これらが「MOMIJI プロジェクト」の目指す目標でした。

今回は、第2回以降の「MOMIJI プロジェクト」の活動内容についてお伝えしたいと思います。



ロンドンにて日本からの参加者と一緒

## ■新しく選出された理事・監事のご紹介

6月の評議員会で選出された新しい理事・監事の方々からメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。

### 【理事】

#### 安喜（アキ） オーバー

新しく理事に選任された安喜オーバーです。父の仕事のため海外の5か国に住み、英国で大学卒業後インベストバンクに勤めました。現在は母が設立したチャリティー Momiji（英国）の理事長、がん患者のサポート団体 Maggie's の仕事をしております。どうぞ宜しくお願い致します。



#### 余谷 暢之（よたに のぶゆき）

普段は国立成育医療研究センターで子どもの緩和ケアの診療に携わっています。「Lifeを支える」緩和ケアの精神を大切にして、病気を持つ子どもと家族が社会の中でその子らしく輝けるために、財団としてできることを考えていきたいと思っております。



### 【監事】

#### 鈴木 洋之（すずき ひろゆき）

今年度より監事のご指名いただきました鈴木です。本業は公認会計士で PwC Japan という監査・税務・コンサルティングを業務とする会社の CEO を 2016 年にリタイアするまでやっていました。キッズファム財団のために力を尽くせればと思っております。



#### 福島 慎吾（ふくしま しんご）

この度、監事に選任いただきました、認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワークの福島慎吾でございます。脊髄性筋萎縮症という神経難病、てんかんのある子どもの父親でもあります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## ご寄付いただいた方々ご支援有難うございます

(2020.4.1 ~ 2020.9.30)

敬称略

秋前 秀樹 / 東 桂子 / 荒田 尚子 / 安西 恵美子 / 安藤 愛子 / 五十嵐 ゆうき / 池上 典子 / 池田 琢哉 / 池永 豊子 / 生駒 芳子 / 伊佐 拓哲 / 石井 恒樹 / 石井 由美子 / 石岡 泰子 / 石川 わかな / 石橋 広隆 / 石原 道子 / 石山 正子 / 磯部 裕子 / 市橋 良子 / 伊藤 啓子 / 稲井 清香 / 稲垣 いく子 / 稲垣 功一 / 伊野 公基 / 岩佐 敏子 / 岩下 奈々絵 / 岩間 有喜子 / 上野 博・悦子 / 宇多小路 利子 / 榎本 さわ子 / 大川 周二 / 大漣 憲一 / 小笠原 和子 / 岡部 和子 / 奥芝 彰子 / 奥野 英子 / 小野 篤子 / 小野 登美子 / 角館 勝子 / 片山 成美 / 片山 ます江 / 桂川 正克 / 金澤 開作・記美恵 / 金子 立 / 蒲谷 ひろみ / 鎌田 千津子 / 亀山 厚也 / 亀山 聡子 / 川勝 美樹 / 川瀬 英子 / 木内 公夫 / 菊地 公子 / 菊原 美緒 / 岸本 晃子 / 喜谷 喜夫 / 鬼頭 とし子 / 絹山 豊子 / 工藤 加寿子 / 工藤 隆司 / 熊野 喜子 / 栗原 幹雄 / 見上 弘子 / 五嶋 くみ子 / 後藤 祥子 / 近衛 忠輝・甯子 / 小林 京子 / 小林 康徳 / 小峰 万木子 / 小宮山 雅子 / 小山 安澄 / 近藤 陽一 / 佐々木 葉子 / 笹嶋 真理子 / 佐藤 千鶴代 / 真田 勉 / 澤渡 美保 / 島谷 美成 / 新藤 由喜子 / 末永 容子 / 須崎 ゆかり / 鈴木 富佐江 / 鈴木 牧子 / 鈴木 佑子 / 鈴木 裕紀子 / 砂田 紀子 / 清藤 航平・珠帆 / 高島 佐代子 / 高田 尚子 / 高梨 絹代 / 鷹 觜 清一 / 高橋 敬子 / 高橋 雅江 / 高橋 里江 / 高山 香奈江 / 滝口 結菜 / 竹村 公華 / 田代 洋子 / 立花 基子 / 玉井 祥子 / 土田 和子 / 土屋 幸子 / 富和 清隆 / 鳥居 正男 / 名嘉 美穂子 / 中尾 あぐり / 中塩 百合 / 永島 崇子 / 中田 俊行 / 中野 喜久子 / 中野 由美子 / 榎川 由紀子 / 沼田 真由美 /

橋本 文子 / 服部 照子 / 原田 純子 / 原田 淑子 / 樋口 浩康 / 彦井 佐江子 / 久間 久恵 / 日高 淑子 / 平田 恭信 / 廣野 充俊 / ファリーダ ラーマン / 福井 峰子 / 福神 邦雄 / 福山 諭 / 藤岡 康 / 藤沼 哲朗 / 藤本 篤子 / 星 多恵子 / 堀内 静夫 / 堀江 ひろ子 / 班目 晶子 / 松坂 ヒロシ / 三浦 正充 / 三浦 文子 / 水野 正望 / 皆川 幸洋 / 宮武 優子 / 百瀬 まなみ / 森部 加奈子 / 守家 李衣 / 森山 邦代 / 八鍬 瑛子 / 八住 美奈子 / 柳瀬 房子 / 山内 敏樹 / 山川 好子 / 山口 栄一 / 山下 経子 / 山根 由香 / 山羽 啓子 / 湯川 れい子 / 揚 正子 / 横山 房子 / 吉岡 月子 / 吉田 三恵子 / 吉田 康子 / 吉永 映子 / 善本 みどり / 匿名 19 名 / イニシャル 3 名 (HT・HK・SH) / (お宝エイド) 石井 千賀子 / 加我 牧子 / 小坂 啓子 / 佐藤 マリ子 / 友永 節子 / 中野 喜久子 / 橋本のり子 / 柳原 麻里 / 渡辺 美佐子

### ご寄付いただいた企業・団体

株式会社富士医科精器 / 株式会社ヘルス / 株式会社八神製作所 / キッチンマルシェ / 宗教法人成勝寺 / 首都開発株式会社 / 世田谷区重症心身害児(者)を守る会 / 東京アーバンコンサルティング株式会社 / 日本製薬団体連合会 63 社 / 株式会社エラン / 株式会社東京文化村ザ・ミュージアム  
 \*日本製薬団体連合会 63 社・・・ウェブサイトをご覧ください。  
 \*募金箱の設置については、多くの企業・団体様にご協力いただいております。設置箇所についてはウェブサイトをご覧ください。  
 \*各種イベントに募金箱を置かせていただいております。



## 会員募集と ご寄付のお願い

- ★ 財団の活動は、皆様からの毎年のご寄付（年会費）によって賄われております。
- ★ 皆様からのご支援で、一人でも多くの「重い病気を  
持つ子どもたちと家族」を支えてください。
- ★ 会員の方には、継続的に財団通信をお送りするほか  
講演会等イベントのご案内を差し上げます。
- ★ 財団通信にて、お名前・団体名を開示させていただきます。匿名およびイニシャルをご希望の方はお手  
数ですが、財団事務局までメールまたはお電話にて  
ご連絡ください。

- ◆ 年会費（4月1日から翌年3月31日）
 

① 法人会員	1口	100,000円
② パートナー会員	1口	10,000円
③ サポーター会員	1口	3,000円

※1口からお受けいたします。

- ◆ ご寄付  
金額の多寡にかかわらず、ありがたく賜ります。  
ご支援をぜひお寄せください。

### 口座名義

一般財団法人

### 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団

- 郵便振替  
00140-0-420461
- 三菱 UFJ 銀行 成城支店  
普通 0233800
- クレジット決済 (QRコード) →



- ★ 三菱 UFJ 銀行に初めてご送金いただいた方は、  
メールまたは電話でご氏名とご住所をご連絡願います。

## —お知らせ—

- ★写真展「いのち輝く」が2021年2月8日～19日、  
東京都世田谷区砧のNHK技術研究所技研ギャラリーで  
開催されます（入場無料）。詳細につきましては、財団の  
ウェブサイトでご案内いたします。
- ★Tポイント募金にご協力をお願いいたします。Tポイント  
カードをお持ちでしたら、ポイントを募金いただくことが可  
能です。下記のウェブサイトからお手続きいただけます。  
<https://tsite.jp/donation/>

おかげさまで…

## みなさまに愛される 街角の募金箱

“キッチンマルシェ”さんは、砧公園の北、東  
京中央卸売市場世田谷市場  
の中にあります。お客様は  
市場関係者の方が多いため  
か早朝より営業しています。  
近隣の事業所へのお弁当宅  
配も行っているそうです。



メニューは和洋中、麺類もあり豊富、カウン  
ターには季節のものを使用した様々な小鉢が並  
び、つい手が伸びます。手作りの紫蘇ジュース  
は絶品です。店内のあたたかい家庭的な雰囲気  
は、お店の方々の良さでしょうか。

この度、ご縁をい  
ただき当財団の募金  
箱を置いていただく  
ことになりました。



青果と花を扱う市  
場は一般のお客様は  
入れないそうです  
が、“キッチンマルシェ”さんは一般の方も利用  
可能です。世田谷美術館や砧公園にお出かけの  
際など、ぜひお立ち寄りください。

## 編集後記

キッズファム通信 No.8 をお届けいたします。  
新型コロナウイルス感染症が収まらず、財団と  
しての活動も限られる日々が続いています。そ  
ういった状況下、チャリティライブは隔月に  
ネット配信のかたちでお届けしています。ま  
た3月から延期された主張コンクールはリアル  
とリモートの融合イベントとして9月に開催  
しました。その主張コンクールと世田谷美術館で  
開催された写真展はメディアの取材もあり、重  
い病気を持つ子どもと家族の実情を社会に広く  
発信できました。今後もウィズコロナの時代に  
沿った活動を続けていく所存ですので、皆様  
のご支援とご協力をお願いいたします。（大川）



## 一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団 (キッズファム財団)

〒157-8535  
東京都世田谷区大蔵 2-10-1  
国立成育医療研究センター内

TEL 03-5494-1230 Eメール [zaidan@kidsfam.or.jp](mailto:zaidan@kidsfam.or.jp)

Foundation for Severely Ill Children and Their Families

URL : <https://kidsfam.or.jp> 「キッズファム財団」で検索ください